



ポカポカ陽気に誘われ

水面に釣り糸を垂らす

行楽客の足をさそう、ことしの大型連休は、開花が例年より2週間近く遅れ、つばみの桜まつりとなりました。しかし連休最後の休日5月6日は日中の最高気温19.3度とポカポカ陽気で、職場や家族づれが中央公園に繰り出し、車座になって宴会を催していました。子供たちは、友だちどうし誘い合い、水面に釣り糸を垂らし、のんびりとヘラブナ釣りを楽しんでいました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

4月30日現在	(前月比)
総人口 25,139人	(41人増)
(出生 23人 転入 203人)	
(死亡 17人 転出 168人)	
男 12,249人	(24人増)
女 12,890人	(17人増)
世帯数 7,294世帯	(28世帯増)

4月28日に臨時町議会

監査委員に清水氏、教育委員は成田氏

町税条例改正で住民の負担軽減

四月二十八日午前十時半から臨時町議会を開催。五十八年度予算の専決処分や、五十九年度一般会計補正予算、町税条例の一部改正など可決したほか、議員選出の監査委員に清水修智氏（50歳・町議五期目）を選任、任期満了の教育委員には成田正直氏（58歳）を任命して閉会しました。決定した主な内容は次のとおりです。

59一般会計補正予算

五十九年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ千五百万円を追加して、総額四十二億六千二百八十七千円となります。歳入は全額繰越金です。歳出の内訳は、旧鷹巣小学校跡地整地工事千万円、旧旭町墓地跡地整地工事四百万円、消防器具置場整地工事（消防署隣り）百万円となっています。

承認された専決処分

いずれも議会を招集する暇がないので専決処分したものです。▽五十八年度国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ四千六百万円を追加して、総額十億千八百九十万円となります。
歳入は、国庫支出金が千九百九十二万四千円、繰越金三千四百七万六千円を追加。
歳出は、保険給付費五千五百三十五万円を追加し、予備費九百三十五万円を減額します。

▽五十八年度土地取得特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ十万六千円を追加して、総額二百十万六千円となります。

本会計は、土地開発基金にかかわる特別会計で、当初予算で積立金利子二百万円を計上していましたが、年度内の利子が二百十万六千円になったので追加補正したものです。

歳出は、全額基金積立するもので、現在高三千八百三十二万六千九百一十円となります。
▽五十八年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ千四百三十三万六千円を追加して、総額五十六万二千七百五十六万三千円となります。

今回の補正は、国、県補助金、起債等の最終決定によるものです。

歳入は、地方交付税四千三百六十九万六千円、国庫支出金千二百四十六万八千円、県支出金百七十七万円、町債六十万円をそれぞれ追加し、繰入金（財政調整基金）五千万円を減額。歳出の主なものは、総務費（

衆議院議員選挙費）五十万円、民生費（福祉、老人医療費）二百三十六万七千円、農林水産業費四十万五千円、土木費（除雪車借上等）千七十六万四千円となっています。

▽町税条例の一部改正

主なものは、昭和五十五年度以来、据え置かれていた人的控除（基礎、配偶者、扶養）が四万円引き上げて「二十六万円」に、障害者、老年者、寡婦、勤労学生控除額が三万円引き上げ「二十四万円」になりました。

また、住民税独自の非課税制度である障害者、老年者、未成年者、寡婦については、合計所得金額を二十万円引き上げて、百万円までが非課税となります。軽自動車は、五〇〇〇バイクが千円に、農耕用が千六百元に、四輪乗用車が七千二百円になりました。

決定した条例改正

▽町税条例の一部改正

所得制の税率を、二十万円以下を「百分の二・五」に、超える金額は「百分の三」に、九十五万円を超える金額は「百分の六」、百二十万円を超える金額は「百分の七」、二百二十万円を超える金額は「百分の八」、三百七十万円を超える金額は「百分の九」とそれぞれ改正になり、その他はこれまでと同率です。

決定した議案

▽委託契約の締結について
五十九年度地籍調査事業の指名競争入札により、三千九十万円で、盛岡市・株式会社バスコ盛岡支店と契約したものを。

決定した人事議案

▽監査委員の選任について
議会選出の委員が三月三十一日で任期満了となったので、明利又・清水修智氏（50歳）を選任するもの

▽教育委員会委員の任命について
任期満了により、小森字四波成田正直氏（58歳）を再任するもの。

議会運営委員長に今川清太郎氏

各会派代表と正副議長による議会運営委員会の構成が、次のように決まりました。

▽委員長 今川清太郎
▽副委員長 吉岡興
▽委員 細田興市、村上良治、渡辺茂雄、篠内政雄、三沢実

会派の届出

四月二十八日に議長あて次のとおり会派届けがありました。
▽賢政会 永井与蔵（代表者）
村上良治、河田隆一

“あふれる緑、豊かな文化”を願い

町植樹祭に二百人が参加

新入学児童も記念植樹

町では、鷹巣営林署、鷹巣町森林組合の共催で、ことしで二回目の「鷹巣町植樹祭及び山火事防止協議会」を四月二十七日に開催しました。

“あふれる緑、豊かな文化”をテーマに、午後一時三〇分



ら、藤林・旧小摩当の中間地点の栄字大トシ地内で植樹祭が行われました。

主催を代表して出川禮一町長は「森林は用材や燃料として貴重な資源であるほか、治山治水、水資源の涵養、自然の保護、健

康や休養、観光、大気の浄化など多面的な公益性をもっている」とあいさつ。続いて富樫北秋田農林事務所長から祝辞を受けたあと、記念標柱を建立しました。

記念植樹では、営林署員から植樹要領の指導を受け、参加した関係団体の方がたや、町内の新入学児童や父母など、およそ三百人が植え付けをしました。樹種は、ケヤキ二百本、桂二百本、青ダモ百本、桜百本を一

つに植樹。ことし小学校に入学した中央小学校の児童全員と、ほか各校二人の代表児童と父母が、小高い峰まで登り、笹の根の張った土を掘り起こし、ケヤキの苗を一本いっぽんていねいに植えては土を踏みかため、父子で額に汗していました。

帰りに参加者全員に、植樹祭を記念して、各家庭でも緑化の意識を高めてもらおうと、五葉松とシダレ桜を贈呈しました。

午後三時三〇分からは、会場を中央公民館に移して、山火事防止協議会を行いました。

■17日(火) 知事招集で年一回行われる、全県市町村長会議は、県の新年度における主要施策についての説明とあいさつ、また当面の連絡事項、市町村長と要望、意見の交換が行われた。

■18日(水) 米・中酪農指定以来三十年近くになり、畜産団体では一番早い組織が町酪農研究会協議会である。同会議が開催されたが、近時酪農家は激減したが頭数は少々横ばい、現会員の意気軒昂を望む。

■20日(金) 鷹巣町森林組合



町長 出川 禮一

出川 禮一

4月16日 - 4月30日

総代会・木材需要の減退等で森林組合の経営に、一段と厳しさが反映した。組合員の積極的な組合利用を望みたい。

■24日(火) 郡市町村社会福祉協議会長会議が、秋田市で行われ初めて出席した。県社協は市町村社協の実情と実態に著しい認識不足を覚え鋭く指摘した。即ち県社協の形式を整えるに吸々で、徒らに諸会合、諸調査を繰り返すのみ。福祉は体裁ではなく、きめ細かく実効ある着実な行動であり、それを助長することである。

る。

■25日(水) 老人クラブ連合会鷹巣支部総会、中国農業技術研修生歓迎会、おはよう野球前夜祭に出席し祝辞を述べた。

■27日(金) 午前中は農業共済組合。午後は鷹巣町植樹祭及び山火事防止協議会に出席。植樹は国土を豊かな緑にすると同時に、治山治水、水源涵養、大気浄化と公益性が高い。

■28日(土) 臨時町議会が行われ、議員選出の監査委員及び教育委員を議会の同意を得て選出した。

■29日(天皇誕生日) 町内大多数の方々の協力を得て、河川、道路、公園等のクリーンアップを行った心から感謝致したい。

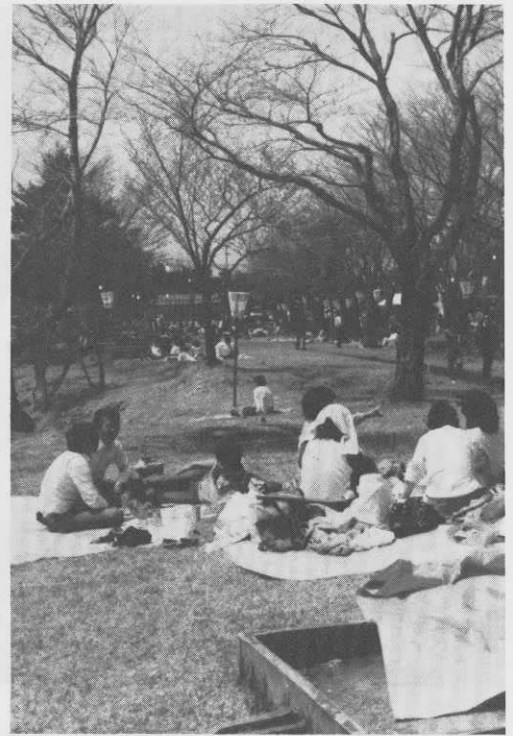
ライオンズクラブ第三十回年次大会が鷹巣体育館で行われ、秋田、山形両県の会員千数百人が参加し盛大に式典を挙行。町では鷹巣競技場に男女一対のブロンズ像の寄贈を受けた。一連の奉仕活動、国際友好事業等に対して、深甚の敬意を総べての会員に申しあげたい。

各地で楽しい催し

十年ぶりの豪雪と、寒波で春も行きつ戻りつ、四月に入って気温が上昇したものの、桜前戦の北上は鈍く、開花も予定より大幅に遅れてしまいました。

恒例の鷹巣中央公園の桜まつりは、四月二十九日から五月六日まで八日間行われましたが、桜の見頃は十日頃が盛り。

期間中の、五月三、五日は雨



▶五月六日はつぼみもほころび家族づれも目立った

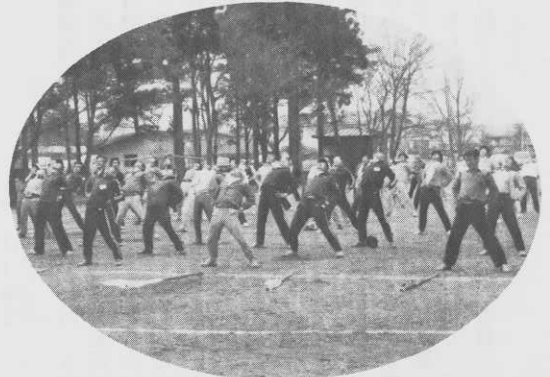


◀花まつりの稚児行列



▲右から二人目がミス中央公園の佐藤祐子さん(22)

▼30チームが参加して子供会綱引き大会



▶技能組合運動会では準備体操を念入りに

開花が遅れも

に見舞われたものの、ほかはずまずの行楽日和となり、それぞれの催しに興じていました。

また吉野学園では、ことしで四回目の「吉野子ども村まつり」が四月二十九、三十日に開催され、障害者との交流を深めようと、たくさんのお家族づれが訪れ、楽しいひと時を過ごしていました。

◀大人からチビッコまで人気のあつた模擬店(吉野)



▼人形劇のチビッコ広場(吉野)



▼七宝焼講習にも人だかり(吉野)



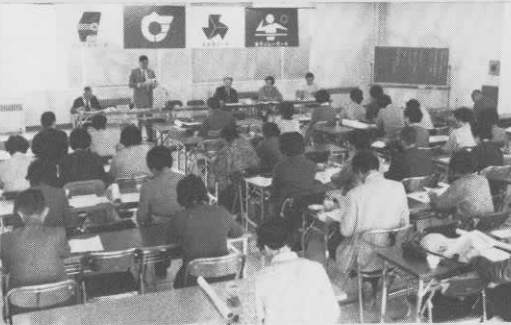
▼園遊会は青葉荘で



▼朝野球の開会式に53チームが参加



▶食中毒防止に気をくばり、食品衛生の指導にも熱が入る



この大会は、学校教育の一環として、スポーツを通じて高校生健全育成と、相互の親睦を図るために行われるものであり、八百人の選手を迎える当町では

高校スポーツの最大の祭典である全国高等学校総合体育大会は、「東北の緑に染まれ君の青春」をスローガンに、七月三十一日から、県内二十市町村で二十六競技が開催されることになっており、
当町では
八月一日
から女子
バレーボ
ール競技が行われます。

あたたかく迎えよう高校総体 大会まであと七十七日

校の生徒は、自分たちで立看板百枚を作成し、



火災予防など、適切な指導を受けました。
特に、選手のエネルギー源となる食事は、新鮮で郷土食豊かな献立にしようと、保健所、学校給食の栄養士さんたちが、中ポリュームたっぷりな献立をと、メモを取りながら試食

▶高校生も手作り立看板で意識啓蒙に一役



町内にたてました。
大会まで、あと七十七日となりました。遠来の高校生がのびのびとプレーができ、青春の思い出の一ページになるよう、町民みんなで協力しましょう。

高校生が十分活躍できるよう、会場、環境の整備、宿舍や食事の対応が求められています。
このため、町では四月二十日に役場で「宿舍関係者の説明会」を開催。食中毒の防止や、風紀、
中央公民館調理室で「マーボー豆腐」や「シーフードカレー」「杏に豆腐」など七品目を試作。会議に出席した五十人余りが試食しました。
一方、鷹巣農林高校、鷹巣高校の生徒は、自分たちで立看板百枚を作成し、

おしらせ

選挙啓発ポスターの作品を募集

選挙管理委員会では、児童生徒の皆さんに明るい選挙をおしすすめるうえに役立つポスターを募集しております。
応募規定は次のとおりです。
▽内容「明るい選挙をおしすすめることを表すものをかいてください。」
▽応募資格「小学校児童、中学校、高等学校の生徒（一人一点）」
▽募集期間「五月二一日から九月十日まで。」
▽提出先「鷹巣町役場、選挙管理委員会（☎二二一一一 内線二四五）へ

国税専門官を募集

国税庁では国税専門官を募集しています。
これは国税専門官試験に合格し、採用されますと、実務に従事する前に税務大学校で三ヵ月程度の初任者研修を受け、その後各国税局管内の税務署に配置されます。
さらに三年経過後に、六ヵ月程度の専門研修を経て国税調査官、国税徴収官などに任用されます。

農林漁業金融公庫

農林漁業金融公庫（農林公庫）は、国の「農林漁業資金」を継承して、昭和二八年に設立された政府の金融機関です。この農林公庫資金は、農林漁業の健全な発展のため低利で償還期間も長く、農林漁業者に有利なものとなっております。
農林公庫資金の種類は次のとおりですので、ご活用ください。
▽総合施設資金「農業で自立するため、経営規模の拡大や合理化投資を考慮しておられる方（金利、年五％、償還期間二五年、貸付限度額個人最高七千万円）

受験資格などは次のとおりです。
▽受験資格「昭和三二年四月二日から三八年四月一日までに生まれた者。」
▽申込期間「昭和五九年五月十六日から五月二三日まで」
▽試験日「第一次試験（七月七日および七月八日）、第二次試験（九月十三日および、九月十四日）」
▽最終合格者発表「昭和五九年十一月一日」
▽採用予定数「約六百人」
▽申込み先「仙台市本町三二二―二三 人事院東北事務局」
くわしいことについては大館税務署総務課（☎大館四二一〇六七二）へお問い合わせください。



残雪の綴子川 (田中)

3500人の人海戦術で

冬の汚れを一掃

ことは例年になく雪消えが遅く、まだ一部に残雪の見られる四月二十九日午前五時三〇分から全町一斉のクリーンアップを実施しました。

「クリーンふるさと」を提唱して、実施されたゴミ一掃作戦もこととして四回目となり、各町内自治会ごとと呼びかけをし、子供会、青年会、婦人会、老人クラブなど、およそ三千五百人が参加しました。

当日は、早朝から澄みきった青空が広がり、米代川や小猿部川、小森川、綴子川、糠沢川、前山川の六河川のほか、道路、広場などを清掃。

散在している空カンや空ビン、ビニール、紙クズなどをビニール袋に拾い集め、一時間半にわたって、冬の汚れを一掃しました。

拾い集められたゴミの量はトラック十五台分で約五十トン。町



子供会も道路清掃(沢口舟場)



米代川のクリーンアップ(摩当)

のほか国や県の協力で、町営埋立地に運搬して処理しました。毎年同じことがいえるが、不法投棄とクリーンアップの繰り返しに、ことしこそは終止符を打つよう、町民各位の衛生思想の資質の向上をはかるよう努力しましょう。

▽過疎地域経営改善資金Ⅱ自立経営とまではいかないが、農業経営を改善したい方(金利、年五%、償還期間二五年貸付限度額個人九百万円)

▽構造改善事業推進資金Ⅱ補助事業実施地区内に居住している者で「担い手」農家を目指す方(金利年五%、償還期間二〇年、貸付限度額九百万円)

資金の種類はこの他にもあります。借入希望の方は各農協、役場農林課と相談のうえ申込を行ってください。

旧小型船舶縦士等の免許をお持ちの方へ

昭和四九年五月二十五日以前に取得された旧小型船舶操縦士免許又は、丙種航海士以上の航海士関係の免許をお持ちの方は、(財)日本船舶職員養成協会などが行っている三時間

の講習を終了すると一級小型船舶操縦士の免許が与えられます。しかし、この制度は今年の五月二十五日に終了することになっていました。

現在、まだ講習を修了していない方は、早く受講して一級小型船舶操縦士の免許を取得するようにしてください。

くわしいことについては、東北海運局秋田支局(秋田市土崎港西一丁目七―三五) ☎〇一八八―四五一〇五五六へ。

日曜日に営業する ガソリンスタンド

- 5月20日 …… 綴子農協GS
- 5月27日 …… 西部農協GS
- 6月3日 …… 合川・米倉石油

5月26日は 県民防災の日です

秋田県では昨年五月二六日に発生したマグニチュード七・七の日本海中部地震の大きな被害を教訓に今後の大規模災害に活かすため「県民防災の日」と定めました。当日、町では公共施設での避難訓練や通信伝達訓練を実施します。

みなさんも家庭や職場の身近かな防災について点検や話し合いをしてもう一度災害に対する備えを確認しましょう。

22回河田杯マラソン大会

壮年A・本城谷選手がV2

一般は熊谷選手が初優勝



ど県北一円から三百五十人余りが参加。七部門で日頃鍛えた脚を競いあいました。

コースは、旧町内を走るもので、沿道では多くの町民から声援を受け、参加者全員が完走しました。

壮年Aの部で本城谷武夫選手(鷹巣走ろう会)が二連勝したほか、高校の部で金晃弘選手(鷹巣農林)、一般の部で熊谷芳弘選手(鷹巣陸協)がそれぞれ初優勝を飾りました。

優勝者と、当町から出場十位以内に入賞した方は、次のとおりです。

▶一般で優勝の熊谷選手
オリンピックを目指して、大活躍した郷土の先輩・河田康雄氏(松葉町・74歳)の、功績をたたえて、開催された河田杯マラソン大会は、ことしで二十二年目をむかえ、四月二十一日午後、役場前をスタート・ゴールで行われました。
当日は、春の陽光を浴びながらも、時折り強い風が吹きつけ、最高気温が平年より七・三度も低い八度で、ハダ寒いコンディションとなりました。
大会には、能代市や大館市な

- ▼中学校の部(四・四キロ)
 - ①田中司(大館一中) 14分08秒
 - ③松岡鉄美(鷹巣中) 14分14秒
 - ⑤松浦敦彦(鷹巣中)
- ▼高校の部(八・五キロ)
 - ①金晃弘(鷹巣農林) 25分45秒
 - ⑤川口章一(鷹巣農林) ⑥小坂雅人(鷹巣農林) ⑧宮腰伸(鷹巣農林) ⑨小坂健正(鷹巣農林)
- ▼一般の部(八・五キロ)
 - ①熊谷芳弘(鷹巣陸協) 25分43秒
 - ②宮腰正樹(役場)
 - ④中島忍(鷹巣陸協) ⑥堀内正弘(綴子走友会) ⑦菅原喬(総合庁舎)

- ⑧佐藤美則(鷹巣走ろう会) ⑨大川洋一(南中教員) ⑩高橋喜久雄(綴子走友会)
- ▼壮年Aの部(40代・四・四キロ)
 - ①本城谷武夫(鷹巣走ろう会) 15分15秒
 - ②鈴木一弘(綴子走友会) ③成田弘(沢口走友会) ④斎藤和治(綴子走友会) ⑤大川武治(鷹巣走ろう会) ⑥伊藤義直(鷹巣走ろう会)
- ▼壮年Bの部(50代・二・一キロ)
 - ①平川吉春(能代) 7分51秒
 - ③大川孝造(綴子走友会) 8分03秒
 - ⑤佐藤弘夫(鷹巣走ろう会) ⑥三沢実(綴子走友会) ⑦桜庭治助(桜庭商店)
- ▼中高女子の部(四・四キロ)
 - ①片山悦子(阿仁一中) 15分57秒
 - ③相馬祐貴子(鷹巣中) ⑥前田朋恵 ⑩近藤真祈子(鷹巣中)
- ▼一般女子の部(一・三キロ)
 - ①阿部澄子(合川陸協) 4分15秒

「消費者意識を高める週間」

5月27日～6月2日

消費者意識の普及と向上を図り、消費者の安全と利益を守ることを目的としています。

この期間中、ポスターを掲示している協力店では、割引セールを行います。

島山喜代治助役が退任

長い間ごくろうさまでした



助役の島山喜代治氏(63歳)は、任期満了により四月三十日をもって退任し、三十八年余りの公務員生活にピリオドを打ちました。昭和十三年鷹巣農林卒、北

海道庁旭川森林事務所勤務、十六年入隊して陸軍大尉、二十一年綴子役場書記、三十一年鷹巣町役場へ、三十九年町民課長、四十三年保険衛生課長、四十七年教委総務課長、五十年六月収入役、五十一年五月から二期助役。島山氏は、その間自治行政に卓越した手腕を発揮しており、惜しまれながらの退任です。長い間、本当にごくろうさまでした。

九島寮二さんの協力で「絵はがき「鷹巣の人とくらし」が完成



絵はがきや観光パンフレットの要望が強いことから町では伊勢町・九島寮二さんの協力を得て、水彩画による絵はがき「鷹巣の人とくらし」を完成させました。

絵はがきは八枚一組で、綴子の大太鼓、中央公園、スキー場のほか、馬の土っ引きやキラタンポ、炭焼き、市日の



中央公民館定期講座生募集



中央公民館では、町民のみならずが望んでいる趣味や学習を深めるために、定期講座を開設いたします。

受講を希望する方は、五月三十一日まで、住所、氏名、電話番号希望講座名を中央公民館（電話二二一三〇）または分館（電話二二二二六）へ申し込んでください。

〔定期講座開設要項〕

- ▽受講対象者は初心者とします。
- ▽受講申し込み者が十人を超えない場合は開講を見合わせる場合があります。
- ▽開講できない場合は個人あて連絡します。
- ▽会場は、親子クッキング（中央公民館）を除いて分館（旧鷹巣小）となります。
- 〔自主運営講座〕
- ▽会場のあっせんはしますが、講師謝金などの運営費は、受講者負担となります。
- ▽リフォームのほかは、五月一日号の広報に記載しています。

〈定期講座〉

講座名	開設曜日・時間	開設期間	講座名	開設曜日・時間	開設期間
パソコン	毎週(土) 13.30~16.00	6月9日~6月30日	油絵	第1・3(月) 19.00~21.30	6月18日~10月29日
指圧	毎週(月) 9.00~11.00	6月4日~7月30日	くらしと法律	第1・3(水) 19.00~21.30	6月6日~10月17日
短歌入門	毎週(水) 19.00~21.30	6月6日~8月29日	生活くふう	第1・3(木) 19.00~21.30	6月7日~10月18日
俳句入門	毎週(木) 19.00~21.30	6月7日~8月30日	花嫁修業	第1・3(木) 19.00~21.30	6月7日~10月18日
自由詩入門	毎週(金) 19.00~21.30	6月8日~8月31日	花婿修業	第1・3(木) 19.00~21.30	6月7日~10月18日
三味線・長唄	毎週(木) 19.00~21.30	6月7日~10月25日	親子クッキング	第2・4(日) 10.00~12.00	6月10日~10月28日
手芸(藤工芸)	第1・3(金) 19.00~21.30	6月15日~8月31日	日曜大工	第2・4(日) 10.00~12.00	6月10日~10月28日
手芸(ちぎり絵)	第2・4(金) 19.00~21.30	6月8日~8月24日	くらしと電気	第2・4(月) 19.00~21.30	6月11日~10月22日
親子野外教室	第1・3(日) 10.00~12.00	6月17日~10月21日	孔版印刷	第2・4(水) 19.00~21.30	6月13日~10月24日
園芸	第1・3(日) 10.00~12.00	6月17日~10月21日	健康づくり	第2・4(木) 19.00~21.30	6月14日~10月25日
話し方	第1・3(月) 19.00~21.30	6月18日~10月29日	拓本と表具	第2・4(土) 13.30~16.00	6月9日~10月27日

〈自主運営講座〉

講座名	開設曜日・時間	開設期間	開設場所	内容
洋裁とリフォーム	第1・3(土) 13.30~16.00	6月2日~60年3月まで	寺田服装学校	洋裁と古物利用のリフォーム

地区公民館の職員紹介

教育委員会では、四月一日付で地区公民館の非常勤職員を次のとおり任命いたしましたのでご活用ください。

任期は二年となっております。

〔鷹巣地区〕 ▽館長 中央館

長兼務 ▽成人主事 千葉久雄

▽婦人主事 加藤タケ ▽青年主事 小坂正浩 ▽体育主事 相馬勤 (以下主事を省略)

〔栄地区〕 ▽館長 長谷川誠

三 ▽成人 小坂信夫 ▽婦人 松尾絢子 ▽青年 亀山明

▽体育 松尾敏美

〔坊沢地区〕 ▽館長 佐藤重光

▽成人 津谷静正 ▽婦人 嶺脇シズエ ▽青年 津谷憲生 ▽体育 佐藤茂延

〔七座地区〕 ▽館長 野呂亀吉

▽成人 篠内昇 ▽婦人 沢田恵子 ▽青年 小笠原秀信

▽体育 丹信夫

〔七日市地区〕 ▽館長 久留島操

▽成人 宮腰光雄 島山憲 ▽婦人 九島静枝 ▽青年 長岐兼雄

▽体育 長岐正人

〔綴子地区〕 ▽館長 三沢清三郎

▽成人 小笠原徹 ▽婦人 佐藤栄子 ▽青年 石川拓己

▽体育 高橋喜久雄

〔沢口地区〕 ▽館長 本城政市

▽成人 宇佐美慧 ▽婦人 小林洋子 ▽青年 小塚英雄

▽体育主事 佐藤実

健全育成に 学、社の連けいを

学、社連けい懇談会



子供は家庭・学校・社会の中で育ちます。そのために学校教育と社会教育は深いかわりをもたなければいけないが、お互いに専門分野に夢中で、事業のゆきすぎや片手おちから、健全育成に疑問を投げかけています。町の教育委員会ではかねてより「学校教育と社会教育の連けい」を強めることを提唱してきましたが、今年度第一回の懇談会を四月二十六日、中央公民館で開きました。出席者は町内の小中学校長に教育委員会の係長以上の人方でした。

学校教育と社会教育の
接点としてのPTA
まず、「学校教育と社会教育

の接点としてのPTA」のあり方について、東小学校長よりつぎのような話題が出されました。PTAでどんなにきれいごとを言っても親は「吾が子中心」のものの方を考へるのが一般的なのでつぎのことをすすめていく。

▽教育目標に父母のねがいを吸いあげること。東小の場合はアンケートなどにより「最後までやりぬく子」「自分から進んでとりくむ子」「思いやりのある子」「けんこうな子」を挙げている。

▽そのための実践課題として「手伝い」「読書」「体力づくり」「家庭学習」(教科の宿題でなく、生涯教育の立場からの体験

学習)を掲げ、その状況の交流を中心とした研修会を開いて、自己中心的な考え方からの脱皮をはかっている。

▽PTAの組織活動は、専門部中心の全校PTA、学年学級中心の学級PTA、家庭・地域中心の地域PTAの三つに分けられる。その中で、最も大切であるが弱いのが地域PTAで、その強化をはかりたい。

課外クラブの あり方に論議集中

この会議で論議の的になったのは課外クラブのあり方でありました。

当町のスポーツ活動が他町村に比べて高い水準にあることは大変よろこばしいことであるが、ゆきすぎの点もあり、調和のとれた方向にもってゆくよう考え直さなければいけないということです。特に二月、三月の各日曜日にスキー大会があり、その全部に出場することは大変無理があることなど……話し合っ

て調整することの必要が強調されました。

また、校外の生徒指導で重要な使命を果している子供会活動(福祉行政の流れ)と、学校の校外指導や、PTAの地域活動との連けいの必要性が話し合われ散会しました。

この会は、今年度二、三回開かれることになっています

ふるさと 人物伝 66

鈴木 竹蔵

一八九〇—一九五七

大正から昭和戦前にかけて県教育界で大きな存在であった鈴木竹蔵氏は七日市上舟木の人である。

竹蔵は明治二十三年、山本郡金岡村字外岡、桜庭竹松の五男として生まれ、明治四十五年、秋田師範本科一部を卒業、小学校訓導を勤め、大正三年、鈴木家の養子になる。

その間に彼は当時大変難しかった中等教員試験(文検)に合格、大正十一年からは土崎実女、釧路中、秋田師範、能代高女、再び秋田師範の教諭を歴任、青年学校教員養成所教授を経て、昭和十二年土崎商業校長、十七年能代商業校長、十九年能代青年学校長



となる。

専攻は東洋史、修身(道德倫理)であるが、独学で検定をとっただけあって広く深く読書し、教授法も好評であった。昭和十一年度、秋田県が文部省の指定を受けて発行した「総合郷土研究」の執筆者にもなっている。

昭和十九年十月、乞われて七日市村長に就任するが、まもなく終戦、二十一年十一月公職追放、二十七年教育委員長となり竜森中学校の独立などの仕事をす。

家にあつては、時々ま帰ってくる息子たちと教育論をたたくわすのが楽しみであった。四男川村四朗氏(現北教育事務所主任指導主事)は「私の秋大卒論、仏教受容時代における日本」百五枚は、その大部分が父の「日本靈異記の研究」の助けによるものです」と原稿を見せてくれた。

晩年は新訳仏教聖典を読経したり中国詩人集を愛読す。また胃潰瘍を病みながら好きな酒は止めず、村内のあつれきの仲裁役となり、「中庸の道を進めよ」とのことばを家族に残し、昭和三十四年一月十九日米内沢病院で死去す。

資料(長男重一郎、四男川村四朗、相馬瑞郎、三日田吉治氏談) 文責 長崎 久



定期戦は10対0で鷹巣農林

めざせ甲子園を相言葉に地元高が激突する鷹巣農林と鷹巣高の第4回野球定期戦は、4月28日午後1時30分から鷹巣球場で行われました。鷹巣農林は調子の波に乗れない鷹巣高に、本塁打を含む長短打を浴びせ10対0の大差をつけてシャットアウトしました。これで対戦成績は2勝2敗の五分となりましたが、夏の本番をむかえて両校の健闘に期待いたします。

4月18日から大野台営農高等学校で農業を学んでいる第三次の中国研修生一行10人は、25日午後6時から中央公民館で開催された「鷹巣町中国研修生を迎える会」に出席し、国際親睦を深めていました。同会は、町長や教育長、公民館長、民宿農家の方が約20人が計画したもので、研修生手づくりのギョウザやキリタンポで話はずみ、日中交流の輪が広がりました。

第三次中国研修生を囲んで



ライオンズでブロンズ寄贈

ライオンズクラブ国際協会332 E地区の30周年次大会は、4月28、29日に当町で行われましたが、記念事業として1対のブロンズ像が鷹巣競技場前に寄贈され21日午前11時から除幕式が行われました。ブロンズ像は当町出身の彫刻家・藤島明範氏(29)に製作依頼したもので、男女の座像は、風が走り去る門ということから、「風の門」と命名されました。

「失敗を恐れず勇気をもって逆転しよう」をテーマに、4月25日華々しくおはよう野球の前夜祭が行われ

ました。当日は、参加チームから選手、応援団と審判団など500人余りが出席し、お互いに正々堂々戦うことを誓い合っていました。また、抽せん会では5ブロック総当たり戦で行われるので、255試合を消化しなければならず7月いっぱいかかる予定です。

失敗を恐れず逆転しよう、



の広場



西幼稚園

こうさか あきひさくん



ガケ崩れ地に住んでいるためか、必要以上に地震や、雨になると恐ろしさを感じます。というのも、十数年前の雨の日に、裏山のガケが崩れ、作業小屋は倒壊し、大きな立木のおかげで土砂流出は防がれ、家屋への被害はまぬがれましたが、背筋が寒くなったことは、いま



前 山 田 イ サ (69歳)

ガケ崩れ地震体験

今回のテーマ『中部地震から一年』

でも記憶に新しく残っています。このためか姑は昔、春先きに裏山に登ってネズミ穴をふさがないと、雨のとき土のしめりが早いので危険だといって、穴ふさぎをしたものです。地震では、昭和三〇年頃の七座山地震もびっくりりましたが、昨年の日本海中部地震では、これまでの地震とはちがって、揺れが大きく、時間の長かったこと。無我夢中で戸外に飛び出してしまいました。裏山は、ガケ崩れの危険区域として指定を受け、県事業で防護壁工事をしてもらいましたが、いまでも強い地震になると、反

対談

親の意見・子供の意見



モクレン (モクレン科)

中国原産の落葉大低木、観賞用花木として庭に植えられている。花は淡紫色で長さが約10cm位ある。花片は6個で2列に並ぶ。この仲間では花の白いハクモクレンも植えられている。

(南小学校 島山 益穂先生)

ふるさとのみなさんへ

全日本バスケットボール大会で優勝

秋田市 成田 勝 (37歳)

私がバスケットボールを始めたのは鷹中二年生の時、以来今まで熱中してまいりました。

秋田いすゞ自動車の監督になったのは、昭和五十年の三月でした。就任にあたり、▼目標を持つ事 ▼基本に忠実にプレーする事 ▼お互いに妥協をしない事、選手にこの三つを守ってもらう事でスタートいたしました。

そして、その成果が五四年の宮崎国体優勝、五五年日本リーグ二部昇格、更に五九年一月には全日本バスケットボール選手権大会に優勝をし、東京、大阪の二大都市以外に動いたことのない天皇杯を、

私達のチームは、決して恵まれた環境下で練習が出来た訳ではありませんが、一生懸命やりました。鷹中の先輩に

秋田県に持って来る結果として表われ、感無量でした。

大企業チームの中には、ややもすればアマチュアスポーツの本質を忘れてるところもあり、仕事とスポーツを両立させている、私達の選手は実に立派だと思えます。



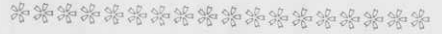
▼成田さんは、田中、成田政治さんの長男です。



西幼稚園
おがさわら ゆかちゃん



みんな



射的にガスの元栓を締めて、安全な道路や前山会館の広場に避難することになっています。
また、雨の日などは、遠くに嫁いでいる娘から、心配の電話があるので、十分気づかりをしたいと思います。

昨年の教訓を生かして



材木町 米沢 美保子 (33歳)

昨年の大惨事を招いた地震から一年たちました。私達は、恐怖と悲劇の中から様々な教訓を得ました。

第一に火の始末など普段観念的に考えていた事が、現実には如何に実行が困難かということ。仕事上、調理場の火には特に気を使いましたが気が動



商品の損害賠償制度

最近 商品の

損害賠償制度が、定められていることを示すマークが目につきます。法律に基づく制度としてはSGマーク制度がありますが、このほかに各業界が独自に設けている制度もいろいろあります。BLマークこの商品(暖房システム・手すりユニットなど)

転して、思うようには行動出来ませんでした。お昼時にも拘らず、火事の出なかったのは本当に幸いでした。

第二に、家族の安否です。電話が不通という不測の事態で、山菜取りに行った義母の事、現場仕事をしている主人の事など不安の募る数時間でした。家族の行方を常に知る事、又非常時に集合する安全な場所を話し合っておくべきだと思えます。

第三に家具の置き方です。特に高所程、危険度が高いので、今は必要外の物は全て戸袋の中にしまい、タンス等も就寝時の事を考えて置いています。大きな家具類は鎖等で固定する事も必要かと思えます。

「天災は忘れた頃にやってくる。」昔の人の教えは尊いものです。非常袋の備え、また、行動の仕方等、家族の会話でも時々取り上げ、慌てず対処出来るよう心掛けたいものです。

には、万一の事故などに備えて保証責任保険、賠償責任保険が付けられており、欠陥があれば無料で修理されます。

また、欠陥による人身事故で死傷したときは、最高一人五千万円が支払われます。

業界単位のマークでは、STマーク(おもちゃなど)、SFMマーク(花火など)、HAPIマーク(家庭用健康治療機器など)が付いております。

右の写真は、大火まもない昭和26年の松葉町通り。都市計画により街路が拡幅されたので、松の木が道路に生えている。大火前は「キング」や「松風亭」など、料亭が立ちならび、宴席の多く開かれた当時は夜の方が賑やかだった。現在は料亭が北小路に移転し、商店街となりました。(写真提供は佐藤勸重氏)



たかのすの昔

おしらせ



（上野原町）上野原町 九島第一

離乳食実習指導は、十七日、五年十月生まれとなっております。

受付時間は午前九時三十分から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康診査は、十七日、五年一月生まれとなっております。受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

予防接種

五月の健康相談は、次のとおりです。成人健康相談は、二三日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、二日です。時間は、午前九時から午後三時まで。妊娠検診、検尿、体重測定など行います。毎週月曜日には母子手帳を交付します。

※場所はいずれも鷹巣中央公民館保健相談室です。

たのしくやせる会

町では成人病のひきがねとな

る肥満を改善するため、たのしくやせる会を計画しました。いろいろな方法で努力したのに、やせれない人など、ぜひお申込みください。

期間、六月十五日から八月六日までの間に五回行ないます。会場、中央公民館

対象、三十歳から五十歳以下の町民でやせたい人、先着二十人まで。申込み、五月三十日まで役場保健婦へ（番二―一―一内線一三四）

樹木の販売

鷹巣営林署では、環境緑化樹木の即売会を行ないます。

販売樹木は山取り木（シヤクナゲ、ウラジロヨウラク、ウリハダカエダなど）約二千本、養成木（シダレザクラ、シラカンバ、ツツジなど）約一万五千本です。

販売日は六月二日、正午から午後三時まで、鷹巣営林署前で販売いたします。

青い鳥はがき

郵便局では、身体障害者に対する国民の理解と関心を高めようとして、「青い鳥はがき」を発行しています。

このはがき是一般に売り出すほか、重度の身体障害者で申し出られた方には、申出者一人に

つき二十枚まで差し上げております。本人または代理の方でもいいですので、郵便局窓口にお申し出ください。

停電のおしらせ

五月の作業停電は、次の地区です。

▽17日、舟見町地区（午後一時～五時）▽29日、堂ヶ岱、高村岱地区（午前九時～正午）

香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。▽中屋敷、近藤茂さんから亡父克美さんの香典返し▽脇神、花田正さんから亡母マツさんの香典返し▽田中、三沢長悦さんから亡父慶一さんの香典返し▽新屋敷、佐々木君子さんから亡夫信さんの香典返し



誕生おめでとうございます

三沢 奈那（勲） 長女前野
桂田 弘史（雅博） 二男元町
藤島 彩香（芳美） 二女前野
佐藤 裕（忠裕） 二男東横町

佐藤 舞子（和一） 長女深関
鈴木 智絵（弘行） 二女舟場
松浦 周人（政通） 二男南鷹巣
米沢 将栄（康壽） 長男あけぼの
加藤紗友美（正志） 長女南鷹巣
成田 翔（吉廣） 長男今泉
大川 博美（正博） 長女藤株
二人の前途を祝福いたします

斎藤 明宏 甲子沢
松岡 美保子 合川町
畠山 均 あけぼの
木村 ノリ子 合川町
藤原 演夫 坊山
藤嶋 まさ 太田
桜庭 浩信 舟見町
梅田 秀子 合川町
柳谷 利紀夫 阿仁町
藤原 鏡子 七日市
佐藤 弘幸 坊沢大町
畠山 明美 黒森
澤野 文夫 大館市
中嶋 昌子 小ケ田
小笠原 秀信 前山
成田 美由紀 今泉
布田 久 七日市
岩谷 節子 摩当

おくやみ申しあげます

大川 キク（83歳） 旭町
戸嶋 タケ（87歳） 相善町
大川 彰（30歳） 高野尻
花田 マツ（96歳） 脇神
和田 リヨ（86歳） 米代町
三澤 慶一（76歳） 田中
近藤 実（53歳） 東横町